



2022年8月10日

各 位

会社名 株式会社 W a q o o  
代表者名 代表取締役社長 井上 裕基  
(コード番号：4937 東証グロース)  
問合せ先 取締役 管理部長 諏佐 貴紀  
(TEL. 03-6805-4600)

### 通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年8月10日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、2021年11月12日付にて公表しました2022年9月期（2021年10月1日～2022年9月30日）の通期業績予想を下記の通りに修正することとしましたので、お知らせいたします。

#### 1. 当期の業績予想数値の修正（2021年10月1日～2022年9月30日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	3,283	150	146	120	40円21銭
今回修正予想 (B)	2,665	44	68	38	12円71銭
増減額 (B-A)	△617	△106	△78	△82	—
増減率 (%)	△18.8	△70.7	△53.4	△68.4	—
(参考) 前期実績 (2021年9月期)	4,684	149	140	116	41円61銭

#### 2. 修正の理由

売上高につきましては、D2C 業界全般における新規顧客獲得単価の高騰によって新規顧客の獲得が苦戦したことにより当初の計画に対して下振れる結果となりました。新型コロナウイルスをきっかけに数多くの企業がECに注力をはじめ、企業規模に関わらず数多くの企業がデジタル広告に取り組むようになったことにより、新規顧客獲得単価の高騰化傾向に拍車がかかり、競争環境が激化していることが減収の主な要因となります。

一方、各段階利益につきましては、効率の悪い広告媒体を抑制したことによる広告宣伝費の減少、並びに売上高の減少による売上原価、運搬費、販売手数料等の売上変動費の減少等があったものの、売上高の減少を補うことができず、営業利益、経常利益、当期純利益においても期初予想を下回る見込みであります。

以上の結果、2022年9月期通期業績予想につきましては、第2四半期決算短信の開示時点では、第3四半期以降、高騰した新規顧客獲得単価は徐々に落ち着きを取り戻すと見込んでおりましたが、依然として不透明な事業環境が継続していることを鑑み、上記影響額及び今後の計画を加味し前回予想から通期業績の見通しを修正いたします。

#### 【業績予想に関するご留意事項】

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。

以 上